

開講科目名／Course	理論看護学特論
時間割コード／Course Code	Z00001
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	秦 さと子
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	前期後半
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	秦さと子、桑野紀子
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	看護学分野の研究者として、関心領域の看護実践の質向上のための理論的な考え方を学修し、看護に関連する概念や理論を分析・評価・活用・構築する力を養う。
到達目標	1. 看護学を支える諸科学、看護現象を理解するための諸理論を概観し、看護理論の変遷について理解する 2. 看護実践における対象理解や看護課題に対し、適切な概念や理論を選択し、具体的活用について説明できる 3. 看護実践の質を向上させるための研究における、概念や理論の活用の流れを説明できる
授業計画	01. 看護学における理論、看護理論の歴史と変遷 02-03. 看護現象を理解するための諸理論 04. 看護学の発展に向けての探究：研究の問いの形成、研究における概念の役割 05-06. 概念（コンセプト）と概念分析 07-08. グループワーク（概念分析） 09. プレゼンテーション 10-14. 関心領域の看護現象に関する概念分析 15. プレゼンテーション
その他の授業の工夫	課題に関するグループ活動、レポートやプレゼンテーション資料の作成、発表、討論を通じた参加型の授業を行う。
時間外学修	事前学習：既習の諸理論のクリティーク（自己学習）を行い、授業内容の理解に繋げる。課題に関するプレゼンテーション資料やレポートの作成を行う。（8h） 事後学習：講義内容を踏まえて、自身の実践領域における概念抽出や理論活用を検討しておく。（4h）
評価方法と評価割合	・授業への貢献度（質問への的確な回答、授業の展開を促す発言、主体的な参加など）30% ・プレゼンテーション70% 遅刻、欠席は減点。
テキスト	特に指定しない
参考書	・Fawcett, Jacqueline (1993). Analysis and Evaluation of Nursing Theories. F A Davis Co. ・フォーセット看護理論の分析と評価 新訂版 (2011) 太田喜久子、筒井真優美監訳、医学書院 ・看護理論家の業績と理論評価 第二版 (2020) 、筒井真優美編、医学書院 ・Rodgers BL & Knafl KA (2000). Concept Development in Nursing: Foundations, Techniques, and Applications. 2nd ed. W.B.Saunders Company. ・Chinn PL & Kramer MK (2025). Knowledge Development in Nursing: Theory and Process, 12th ed. Elsevier.

履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	秦さと子：看護師 桑野紀子：看護師、保健師、助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	研究分野に関連する幅広い専門的知識と高い倫理性の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得

開講科目名／Course	量的研究方法特論
時間割コード／Course Code	Z00002
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	吉田 成一
必修・選択 ／	必修
開講時期 ／Semester term	前期前半、前期後半
学年 ／Grade	1年
担当教員 ／	吉田 成一、吉村 匠平、野津 昭文、岡田 悠希、荒木 章裕、後藤 成人、石丸 智子
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	量的研究活動を自ら展開する為に必要な事項を学び、実践的知識の習得を目指す。関心のあるテーマについて概念（研究）枠組みを開発できる能力を養う。また、看護学で幅広く使われている統計的手法を網羅し、活用方法と解釈の仕方を修得する。
到達目標	1. 量的研究を行うための概念（研究）枠組みと仮説の基本を説明できる。 2. 看護学で幅広く使われている統計的手法の活用方法と解釈の仕方を修得し、実践に用いることができる。
授業計画	01. 量的研究の定義・哲学的基盤・リサーチクエスションの生成（吉田） 02. 研究デザインの原理と選択の理論（吉田） 03. 量的研究における概念枠組み・理論モデル・仮説構築（吉村） 04. 疫学理論と方法の応用（観察研究・コホート・ケースコントロールなど）（野津） 05. 因果推論の設計原理：識別、調整、推定（野津） 06. 記述統計・推測統計の原理（野津） 07. 回帰分析とモデル構築（岡田） 08. 高度な統計的手法Ⅰ：多層モデル・生存時間解析など（野津） 09. 高度な統計的手法Ⅱ：因子分析・構造方程式モデリング（SEM）など（岡田） 10. 調査研究の設計と実践（荒木） 11. 実験研究Ⅰ：動物・細胞モデル研究の基礎と倫理（吉田） 12. 実験研究Ⅱ：介入研究・RCT（後藤） 13. 尺度：測定理論、信頼性・妥当性、開発と検証（石丸） 14. 研究計画プレゼンテーション：研究課題・デザイン・方法論の提示（全担当教員） 15. 研究計画ディスカッション：質疑応答・フィードバックと今後の展望（全担当教員）
その他の授業の工夫	各領域の専門分野の教員を配置するとともに、実際に実施する各自の研究計画に関する参加者全員でディスカッションを行うことで幅広い研究手法の習得ができるよう、講義をすすめる。
時間外学修	各回の講義内容に関して、十分な時間をかけた事後学修を行い、理解を深めること。各自の研究計画に関係する分野についてはプレゼンテーションに反映し、発表準備を行うこと。
評価方法と評価割合	各回の試験：60% 研究計画提出とプレゼンテーション：40%
テキスト	看護における研究 第3版
参考書	黒田裕子訳（2023）バーンズ&グローブ看護研究入門原著第9版：評価・統合・エビデンスの生成、ELSEVIE 坂巻頭太郎、篠崎 智大（監修）（2023）生物統計学の道標 研究デザインから論文報告までをより深く理解するための24講、一般財団法人 厚生労働統計協会 木原雅子/木原正博監訳（2024）医学的研究のデザイン 第5版: 研究の質を高める疫学的アプローチ、メディカル・サイエンス・インターナショナル
履修する上で必要な要件	

その他	講義の実施内容等によっては対面ではなく、オンラインを活用も行うことがあるため、担当教員からの連絡を確認すること。
実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	科学的論文を作成し、学術雑誌に投稿・掲載でき、学術集会等で論理的に研究成果を説明できる能力の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得、プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	質的研究方法特論
時間割コード／Course Code	Z00003
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	小野 美喜
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	前期後半、後期前半
学年 ／Grade	1年、2年
担当教員 ／	小野美喜●、麻原きよみ●、草野淳子●、杉本圭以子●
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	看護研究者またはDNPとして研究を行ううえで必要な質的研究法について実践的な学習を行う。
到達目標	1. 質的研究とその研究方法に関して実践的な知識を得る。 2. 主要な質的研究法について基本特性と分析の考え方について実践を通して学ぶ。 3. 質的研究の質と評価、求められる水準を学ぶ。
授業計画	01 質的研究方法と看護科学の発展 02 質的研究のデザイン 03 質的研究のデータ収集 04 質的研究のデータ分析 05 主な質的研究の手法；質的記述的研究、エスノグラフィー 06 主な質的研究の手法；グラウンデッド・セオリー 07 主な質的研究の手法；現象学的アプローチ、事例研究 08 質的データ収集と分析計画 09 データ収集の実践報告と討議 1 10 質的データ収集の実践報告と討議 2 11 質的データ分析報告と討議 1 12 質的データ分析報告と討議 2 13 質的研究論文のクリティーク 14 質的研究の質評価 15 研究テーマに沿った質的研究
その他の授業の工夫	質的研究の手法を学び、実際にデータ収集や分析を行っていきます。またデータ収集や分析の実践報告と全体討議によって、質的研究法をブラッシュアップする視点を養います。
時間外学修	質的研究計画、データ収集や分析、実践報告のための資料作成は時間外学修になります。
評価方法と評価割合	実践報告のプレゼンテーションと討議（50％）、各研究テーマに沿った質的研究のレポート(50%)
テキスト	授業時にハンドアウトの資料を配布します
参考書	グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江編著, よくわかる質的研究の進め方・まとめ方：看護研究のエキスパートをめざして第2版, 医歯薬出版, 2016 N・K・デンジン, Y・S・リンカン編；岡野一郎, 古賀正義編訳, 平山満義監訳, 質的研究ハンドブック 1～3巻, 北大路書房, 2006 佐藤郁哉著 質的データ分析法：原理・方法・実践 新曜社, 2008 プシュカラ・ブラサド (著), 質的研究のための理論入門 ナカニシヤ出版 2018
履修する上で必要な要件	特にありません
その他	看護を探究につながる質的研究の実践を一緒に学びましょう。

実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	小野美喜 看護師 麻原きよみ 保健師 草野淳子 看護師 杉本圭以子 看護師
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	科学的論文を作成し、学術雑誌に投稿・掲載でき、学術集会等で論理的に研究成果を説明できる能 力の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	レビュースタディ
時間割コード／Course Code	Z00004
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	1.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	品川 佳満
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	前期後半、後期前半
学年 ／Grade	1年
担当教員 ／	品川佳満，野津昭文
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	8
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	<p>本科目は、看護研究分野におけるレビュー研究に関する知識と技能を修得することを目的とする。レビュー研究は、研究の基盤を構築し、エビデンスを統合したり、新たな研究領域の全体像を明確にしたりするための手法である。本講義では、システマティックレビューやスコーピングレビューをはじめとする主要なレビュー手法の特徴と手順を学ぶとともに、適切な文献検索戦略の立案、AI等を活用した効率的なレビュー支援の方法についても取り上げる。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学におけるレビュー研究の意義について説明できる。 2. システマティックレビューとスコーピングレビューの内容と手順について説明できる。 3. 研究課題に応じて、システマティックレビューやスコーピングレビューなどの手法を選択できる。 4. 適切なデータベースを用いて文献検索を実施できる。 5. 文献レビューにおいてAIや文献管理ツールを活用できる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究におけるレビュー研究の意義 2. スコーピングレビュー 3. システマティックレビュー（1）手順，バイアスリスク評価 4. システマティックレビュー（2）メタアナリシス，GRADEシステム 5. データベース検索と文献管理 6. AIを活用したレビュー支援 7. レビュー論文の精読とプレゼンテーション 8. レビュー論文の精読とプレゼンテーション
その他の授業の工夫	<p>附属図書館司書との連携により、本学が提供しているデータベース等に関する情報を提供していく。</p>
時間外学修	<p>自身の研究テーマに関連するスコーピングレビューもしくはシステマティックレビュー論文を検索・選定・精読し、プレゼンテーションの準備を行う。</p>
評価方法と評価割合	<p>平常点（授業での発言、ディスカッションへの貢献）：30% レビュー論文のプレゼンテーション：70%</p>
テキスト	
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ Cochrane Handbook for Systematic Reviews of Interventions (https://www.cochrane.org/authors/handbooks-and-manuals/handbook) ・ Minds診療ガイドライン作成マニュアル (https://minds.jcqhc.or.jp/methods/cpg-development/minds-manual/) ・ JBI Manual for Evidence Synthesis (https://jbi-global-wiki.refined.site/space/MANUAL) ・ PRISMA (https://www.prisma-statement.org/)
履修する上で必要な要件	
その他	

実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	科学的論文を作成し、学術雑誌に投稿・掲載でき、学術集会等で論理的に研究成果を説明できる能 力の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	生命病態学特論／Advanced life pathphysiology
時間割コード／Course Code	Z10001
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	濱中 良志
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	濱中良志
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	器官系別に主な病態について理解を深める。
到達目標	臨床でよく遭遇する疾患の病態生理を説明できる。
授業計画	1. 総論 2. 酸素運搬 3. 血圧の異常 4. 代謝の異常 5. 血液凝固の異常 6. 心機能の異常 7. 呼吸機能の異常 8. 神経機能の異常 9. 消化器機能の異常 10. 骨格筋機能の異常 11. 腎機能の異常 12. 肝・単・脾の異常 13. 内分泌の異常 14. 代謝の異常 15. まとめ
その他の授業の工夫	レポートの添削により、理解を深める。
時間外学修	YouTube の配信動画（HAMANA+K+チャンネル；心電図：暗記からの卒業シリーズ、国試対策：暗記からの卒業シリーズ https://www.youtube.com/channel/UCTSwGFAu2uGlfaCVi6zSwcQ ）の授業の該当箇所を視聴して事前学習及び授業後の復習とする。
評価方法と評価割合	レポート評価（60点以上が合格）
テキスト	
参考書	
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	

教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	有
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	濱中良志（病院で勤務する医師）
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	健康増進科学特論／Advanced study of Health promotion and nutrition
時間割コード／Course Code	Z10002
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	稲垣 敦
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	前期前半、前期後半、後期前半、後期後半、別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	稲垣 敦、安部眞佐子
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	運動学、栄養学に関するヘルスプロモーションに関する方法論を学び、新たな健康指導や保健指導のあり方を考え、身につける。
到達目標	運動学、栄養学におけるヘルスプロモーションに関する方法論を説明できる。
授業計画	1) 科学とは 2) ボディメカニクス 3) 運動の測度、運動強度 4) エネルギー消費量、運動量 5) 運動機能と体力 6) レジスタンストレーニング 7) ストレッチング 8) 有酸素能力 9) 行動変容 10) レポート作成 11) 栄養アセスメント 12) 栄養指導の手法 13) 食事摂取基準とは 14) 食事摂取基準の読み方 15) 栄養とサプリメント 16) 試験
その他の授業の工夫	体験をするため、演習的内容も含みます。
時間外学修	レポートを作成する。
評価方法と評価割合	レポート（50%）、受講態度・発言（50%）
テキスト	必要に応じて配付する。
参考書	
履修する上で必要な要件	学部卒業レベルと基礎学力（英語、統計学等）
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	稲垣 敦：健康運動指導士養成研修会講師
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	無

実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	保健情報科学特論／Health Informatics & Biostatistics II
時間割コード／Course Code	Z10003
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	品川 佳満
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	品川佳満，野津昭文，岡田悠希
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	情報技術の著しい進展に対して、看護職として対応できる能力を育成し、看護の実践現場への積極的な活用をめざすとともに、看護実践に必要とされるデータを適切に収集・分析するための情報処理技術や統計手法について探求する。特に、医療・看護・保健の現場で蓄積されている膨大なデータに対して、柔軟なデータ処理、統計分析を行うためのプログラミング技法について探求する。
到達目標	1. 疫学及び生物統計学の高度な理論と実践手法を説明できる。 2. 目的に応じて、適切な情報収集・分析を行うことができる。 3. 実際の医療・看護データを用いて、プログラミングによるデータ解析を行うことができる。
授業計画	01-06. 情報処理技術 プログラミング言語を用いたデータ処理技術を習得する。 07-12. 疫学・生物統計学 疫学・統計学の理論と手法の看護研究への高度な応用を探求する。 13-15. データ解析演習 実際のデータを用いてプログラミングによるデータ解析を実践する。
その他の授業の工夫	各回に具体的な事例を扱い、演習形式も含めて学びを深める。
時間外学修	次回の内容に関する予習を必要とする。
評価方法と評価割合	提出課題50%、授業中の質疑50%。
テキスト	配布資料を用意する。 別途テキストを指示する。
参考書	
履修する上で必要な要件	疫学、統計学、情報処理の基本的な知識と技術を習得していることを前提とする科目である。
その他	履修登録前に、本科目を履修する目的について相談をしてください。
実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	

DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	科学的論文を作成し、学術雑誌に投稿・掲載でき、学術集会等で論理的に研究成果を説明できる能力の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	精神保健学特論Ⅱ／Advanced Seminar for Community Mental health2
時間割コード／Course Code	Z10004
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	杉本 圭以子
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	杉本圭以子
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	履修者のニーズに応じて、精神健康に関する理論の講義または文献抄読を行う。
到達目標	履修者が関心をもつ領域の研究課題を、精神保健学の用語を使って述べることができる。
授業計画	<p>取り上げるトピックの例</p> <p>01. 精神障害者の社会復帰支援（デイケア、就労支援）</p> <p>02. 産業精神保健（職場のメンタルヘルス）</p> <p>03. 精神健康の自己管理（セルフケア）</p> <p>04. 精神障害者のリカバリー</p>
その他の授業の工夫	文献抄読では報告者以外も積極的に討論に参加する。
時間外学修	サマリー作成を各自で行う。
評価方法と評価割合	参加態度とサマリーにより評価する（100％）。
テキスト	
参考書	
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	杉本圭以子：看護師
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	研究分野に関連する幅広い専門的知識と高い倫理性の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得

開講科目名／Course	放射線保健学特論／Advanced Radiological Health
時間割コード／Course Code	Z10005
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	小嶋 光明
必修・選択 ／	必修
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	小嶋光明、恵谷玲央
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	12
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	医療放射線利用の歴史は、X線発見後の科学が歩んだ歴史を写している。現代ではCT・PETから重粒子線治療に至る医療の歴史にはあらゆる領域の学問の進化が関係している。本講義では、放射線の基礎から最新の情報までをカバーしながら、学生の関心や質問に応じてトピックスを絞り講義を進める。
到達目標	医療放射線のリスクとその防護を説明できる。
授業計画	医療放射線利用とその影響・防護に焦点を当て、最新の情報を教授しながら学生との討論形式で講義を進める。
その他の授業の工夫	学生の関心や質問に応じてトピックスを絞り講義を進め、学生との討論形式で行う。
時間外学修	事前に資料を提供するので、講義前にあらかじめ予習をしておく。
評価方法と評価割合	討論および口頭試験で総合評価する。
テキスト	
参考書	
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	看護基礎科学特別演習
時間割コード／Course Code	Z10007
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	4.0
学年／Year	2,3
主担当教員／Main Instructor	稲垣 敦
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	小嶋光明、吉田成一、稲垣敦、品川佳満、杉本圭以子、吉村匠平
講義形態 ／Class Type	演習
授業回数	60
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	看護の基礎となる多領域の専門分野の教員から指導を受けることで、専攻する看護研究を深め発展する力を養う。
到達目標	科学的研究方法を体系的に説明できる。
授業計画	各教員から課題提示および講義指導が行われる。学生の研究領域に配慮した課題が提示され、学生は調査分析を行い、各教員に対してプレゼンあるいはレポートによって報告し指導を受ける。
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・各担当教員による指導を直接受ける。 ・Zoom等を活用する。
時間外学修	各担当教員によって提示された課題を調査・分析する。
評価方法と評価割合	各担当教員がそれぞれの課題レポート、あるいはプレゼン指導を評価する（100％）。
テキスト	
参考書	
履修する上で必要な要件	博士課程前期修了レベルの研究能力
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	生活支援看護学特論／Seminar for Nursing Life Support
時間割コード／Course Code	Z20001
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	石田 佳代子
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	石田佳代子、桑野紀子、福田広美
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	看護の概念・機能などについて包括的に教授し、看護学の発展のための看護研究手法の開発について探求する。看護実践に必要とされる理論、および基本的な援助技術について理論的に考察し、対象者の生活の視点から支援の在り方を探求する。家庭、職場、学校、地域で生活する対象者に健康保持増進のための生活支援の在り方を探究し、具体的な実践活動に還元する手法を学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学における生活支援の在り方を探究し、看護技術の開発や具体的な実践活動につなげる方法について考察することができる。 ・自身の実践分野や研究に沿った関心テーマについて、論文等から情報収集し、自身の研究テーマと関連づけながら考察することができる。 ・プレゼンテーションを行い、ディスカッションを通してさらなる探究ができる。
授業計画	01. 基本的生活援助等に関する理論及び研究の検索 02. 基本的生活援助等に関する理論及び研究の理解 03. 基本的生活援助等に関する理論及び研究の有効性・妥当性 04. 基本的生活援助等に関する理論及び研究に対する課題 05. 基本的生活援助等に関する理論及び研究に対する考察・発表 06. 各国の保健医療福祉に関する福祉レジーム、看護を取りまく状況 07. 海外で生活する日本人の健康保持増進に関する研究の検索と理解 08. 日本で生活する多様な背景を持つ人々の健康保持増進に関する理論及び研究の検索 09. 日本で生活する多様な背景を持つ人々の健康保持増進に関する理論及び研究の理解、課題 10. 日本で生活する多様な背景を持つ人々の健康保持増進に関する理論及び研究に対する考察・発表 11. 地域で生活する人々の健康保持増進の理論及び研究の検索 12. 地域で生活する人々の健康保持増進の理論及び研究の理解 13. 地域で生活する人々の健康保持増進の理論及び研究の有効性・妥当性 14. 地域で生活する人々の健康保持増進の理論及び研究の課題 15. 地域で生活する人々の健康保持増進の理論及び研究に対する考察・発表
その他の授業の工夫	オムニバス形式とし、多角的な視点から看護の概念や機能に関する理論や研究を活用し、理解を深める。 理論や研究からの学びについて、プレゼンテーションしディスカッションする。
時間外学修	各担当教員から示される課題についてレポートを作成する。
評価方法と評価割合	課題レポート：40% プレゼンテーション、ディスカッション：30% 参加態度：30%
テキスト	適宜指示する

参考書	
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	石田佳代子：病院看護師 福田広美：病院看護師 桑野紀子：保健師、助産師
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	エビデンスに基づいた看護を実践し、その理論や研究について学生に指導する。
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	研究分野に関連する幅広い専門的知識と高い倫理性の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得

開講科目名／Course	看護管理学特論／Special Lecture on Nursing Administration
時間割コード／Course Code	Z20002
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	福田 広美
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	前期前半、前期後半
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	福田広美 持田恵理 荒木章裕 伊藤智美
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	看護管理学におけるエビデンスを活用した組織変革について、リーダーシップやコラボレーション、倫理等に関するアプローチと共にエビデンスの実装を学ぶ。
到達目標	1. 看護管理学におけるエビデンスを活用した組織変革について説明できる。 2. リーダーシップやコラボレーション、倫理等に関するアプローチについて説明できる。 3. エビデンスの実装について説明できる。
授業計画	1.エビデンスを活用した組織変革：公衆衛生分野 2.エビデンスを活用した組織変革：医療分野 3. EBPと組織変革 4.リーダーシップの理論・モデル 5.リーダーシップの育成 6.コラボレーションモデル 7.コラボレーションプロセス 8.倫理に関するアプローチ 9.エビデンスと実装モデル 10.実装戦略と組織分析 11.実装戦略と組織 12.実装戦略と計画フェーズ1-2 13.実装戦略と計画フェーズ3-4 14.実装戦略と評価 15.まとめ
その他の授業の工夫	受講者の経験や関心に基づいてエビデンスに基づく組織変革を学習する。課題に関するレポートやプレゼンテーション資料の作成、発表や討論を通じた参加型の授業を行う。
時間外学修	事前学習：課題に関するプレゼンテーション資料やレポートの作成を行う。事後学習：講義内容を踏まえてレポートの作成を行う。（合計45時間）
評価方法と評価割合	プレゼンテーション40% レポート40% 参加態度20%
テキスト	1.高度実践看護：統合的アプローチ 第3版 へるす出版; Third edition (August 27, 2025)中村 美鈴 (Consultant Editor, Translator), 法橋 尚宏 (Consultant Editor, Translator) 2.看護実践の質を改善するためのEBPガイドブック:アウトカムを向上させ現場を変えていくために アイオワ大学病院看護研究・EBP・質改善部門 (Editor), 松岡千代 (Translator), 深堀浩樹 (Translator) ミネルヴァ書房 (2018) 3.The Doctor of Nursing Practice Project: A Framework for Success Fourth Edition,Katherine J. Moran, DNP, RN, CDCES, FADCES, FNAP; Rosanne Burson, DNP, ACNS-BC, CNE, CDCES, FADCES, FNAP; Dianne Conrad, DNP, RN, FNP-BC, BC-ADM, FNAP ISBN:9781284255447 © 2024 480 pages

参考書	看護管理学習テキスト 第4版 第1巻 保健医療福祉制度・政策論（日本看護協会出版会） 看護管理学習テキスト 第4版 第2巻 看護サービスの質管理（日本看護協会出版会） 看護管理学習テキスト 第4版 第3巻 人材管理論（日本看護協会出版会） 看護管理学習テキスト 第4版 第4巻 組織管理論（日本看護協会出版会） 看護管理学習テキスト 第4版 第5巻 経営資源管理論（日本看護協会出版会） 看護管理学習テキスト 第4版 別巻 看護管理基本資料集（日本看護協会出版会）
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	福田広美・荒木章裕：病院の看護師 持田恵理：行政保健師
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	有
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	伊藤智美：病院の看護師
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	研究分野に関連する幅広い専門的知識と高い倫理性の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	生殖看護学特論Ⅱ
時間割コード／Course Code	Z20003
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	濱 耕子
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年
担当教員 ／	濱耕子 樋口幸
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	対面のみ
科目の目的と概要	リプロダクティブヘルスにおける看護職の役割と援助のあり方について系統的に教授し、少子高齢社会における女性の満足度を高めるための助産師の役割を探究する。各ライフステージにおける生殖の視点からの課題および援助のあり方を探究し、現在社会における問題解決の方策や助産師の質の向上と自律的な活動を活性化するための方策について探究する。
到達目標	1. リプロダクティブヘルスにおける看護職の役割と援助のあり方を説明できる。 2. リプロダクティブヘルスにおける現代社会の健康課題と解決方法について説明できる。
授業計画	＜母性領域＞ 思春期、成熟期、更年期、老年期の各ライフステージにおける女性とその家族の健康の維持・増進や健康逸脱時の援助、健康教育について探究する。 ＜助産領域＞ リプロダクティブヘルスにおける日本および諸外国の助産師の役割、助産師に求められる女性や社会ニーズと課題、助産師が持つべき能力について概観する。
その他の授業の工夫	受講生の臨床経験や研究課題にあわせて講義内容を検討する。 講義や発表後に討議し内容の理解を深める。
時間外学修	事前学修：事前課題についてのレポート作成。 事後学修：授業時の配布資料等を用いて復習する。（合計45h）
評価方法と評価割合	受講態度：40％ レポート等：60％
テキスト	講義の中で適宜資料を配布する。
参考書	
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	濱耕子：病院（助産師） 樋口幸：病院（助産師）
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	エビデンスに基づいた看護と臨床経験を生かした看護を実践し、その理論と確かな技術を学生に教授する。

DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	発達看護学特論／Developmental Theory in Nursing
時間割コード／Course Code	Z20004
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	小野 美喜
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	小野美喜● 草野淳子● 古賀雄二●
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	人間の一生について、生まれてから死をむかえるまでの各期の発達課題について理解を深めるよう系統的に教授し、各期の発達課題の視点を踏まえた看護介入や看護職の役割を探究する。
到達目標	1. 小児看護の理論を適用した子どもと家族への看護役割が説明できる 2. 成人期の発達課題と看護の役割が説明できる 3. 老年期の発達課題と看護の役割が説明できる
授業計画	01 小児の成長発達と主な理論（草野） 02 小児の発達と遊び1（草野） 03 小児の発達と遊び2（草野） 04 小児の栄養（草野） 05 家族のアセスメント（草野） 06 NICUにおける早産児と家族問題（草野） 07 事例展開・文献のまとめ発表（草野） 08 事例展開・文献のまとめ発表（草野） 09 青年期の発達と健康課題と看護（古賀） 10 壮年期の発達と健康課題と看護（古賀） 11 中年期の発達と健康課題と看護（古賀） 12 老年期の発達と健康課題（小野美） 13 老年期の発達と看護の役割（小野美） 14 老年期の発達と看護実践（小野美） 15 老年期の発達を支援する看護事例の発表（小野美）
その他の授業の工夫	人間の発達をとらえ、発達上にある健康課題と看護について考えるため、授業の討議を行います。授業は1～6回小児期、9～11回成人期、12～15回を老年期とし、各専門領域の講師が担当します。
時間外学修	授業で発表する資料準備とレポート作成は時間外になります。
評価方法と評価割合	課題レポートの内容およびプレゼンテーションにより評価します（100％）。
テキスト	
参考書	舟島なをみ,望月美知代著 看護のための人間発達学 第5版（医学書院）
履修する上で必要な要件	授業には、参考書および各発達段階の理論を読み参加してください。発達段階と看護役割に関するプレゼンテーションを行ってもらいます。
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	小野美喜：病院の看護師 草野淳子：病院の看護師 古賀雄二：病院の看護師

教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	科学的論文を作成し、学術雑誌に投稿・掲載でき、学術集会等で論理的に研究成果を説明できる能力の習得、研究分野に関連する幅広い専門的知識と高い倫理性の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得

開講科目名／Course	国際看護学特論Ⅱ／Advanced International Nursing 2
時間割コード／Course Code	Z20005
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	桑野 紀子
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	後期前半、後期後半
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	桑野紀子
講義形態 ／Class Type	演習
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	<p>本科目は、自身の研究テーマを国際的文脈の中に位置づけ、理論的・方法的に再構成すること、また、実際に発信できる研究へと発展させる力を養うことを目的とする。</p> <p>導入では、国際保健・国際看護学の主要概念を再確認するとともに、グローバル社会における健康課題を、国際政治・経済、保健医療システム、文化、地球環境といった多層的視点から捉える。特に、World Health Organizationや国際研究プロジェクト等が提示する指標や政策枠組みを、活用する視点で読み解く力を重視する。</p> <p>学生は、自身の研究テーマに関連する国際機関の政策文書、統計資料、海外原著論文を英語で収集・精読し、研究テーマの国際的意義、既存研究の到達点と限界等を明確化する。</p> <p>終盤には、英語による研究プレゼンテーションとディスカッションを通して、国際的な研究対話力を実践的に涵養する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自身の研究テーマに関する国際的な健康・看護課題の動向を、信頼性の高い一次情報源から体系的に収集・評価できる。 2. 研究テーマを、対象・文化・社会経済状況・保健医療システム・政策的背景を含めて統合的に説明できる。 3. 海外原著論文を批判的に講読し、自身の研究の独自性・課題・国際的貢献可能性を明確に言語化できる。 4. 自身の研究内容を、英語で論理的にプレゼンテーションし、議論を行うことができる。
授業計画	<p>01-02. 導入：導入：グローバルな健康課題を俯瞰する</p> <p>03-04. 研究テーマ別：国際政策・国際機関資料の批判的分析</p> <p>05-06. 研究テーマ別：文化・社会構造・保健医療システムの違いを読む、国・地域比較の視点</p> <p>07-08. 海外原著論文講読Ⅰ：理論・概念枠組みに注目する</p> <p>09-10. 海外原著論文講読Ⅱ：方法論・研究デザインに注目する</p> <p>11-12. 国際発信を意識した研究プレゼンテーション構築</p> <p>13-14. 英語でのプレゼンテーション、ディスカッション</p> <p>15. まとめ：学修の振り返りと今後の計画の共有</p>
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜小グループでのディスカッションを組み込む ・世界の保健医療情報を国際機関等から収集し、英語での情報収集能力向上を図る ・プレゼンテーションを課することで主体的な学習を促す ・テーマにより、海外の大学の博士課程学生とオンラインで研究交流する場を設け、英語でのプレゼンテーション、ディスカッションを行う。
時間外学修	<p>事前学習：提示された課題について情報収集・事前学習を行い、プレゼンテーション準備を通じて理解を深める。</p> <p>事後学習：授業でのディスカッションの内容と学びを振り返る。</p>
評価方法と評価割合	<p>プレゼンテーション（50%）：発表内容について、質疑等を通して評価する。</p> <p>ディスカッションへの参加度（50%）</p>

テキスト	<教科書> 指定なし <参考書> 授業内容に応じてその都度紹介する。
参考書	Marilyn Douglas, Dula Pacquiao, Larry Purnell (2018) Global Applications of Culturally Competent Health Care: Guidelines for Practice. Springer Nature.
履修する上で必要な要件	特になし
その他	特記なし
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	桑野紀子：看護師、保健師、助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	国際間比較研究、海外の研究者との共同研究に関する経験を指導に反映する。
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	看護専門科学特別演習
時間割コード／Course Code	Z20007
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	4.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	小野 美喜
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	小野美喜●、石田佳代子●、古賀雄二●、草野淳子●、杉本圭以子●、濱 耕子●、福田 広美●
講義形態 ／Class Type	演習
授業回数	60
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	<p>受講する学生の選択する看護領域での実践現場（病院、事業所、保健所、市町村など）を想定し、演習内容等は受講生のニーズを検討して進める。</p> <p>専門領域に即した演習の課題、問題点などに焦点をあてて検討し、問題解決の方策を探究する能力</p>
到達目標	<p>1. 各専門領域における健康問題や看護問題等について、ディスカッションを通して自己の考えを説明できる。</p> <p>2. 自己の研究課題についてプレゼンテーションし、問題解決の方策について参加者に尋ね、相互にコミュニケーションを図り、自己の課題に応用できる。</p>
授業計画	<p><オムニバス形式> 演習領域等は、受講者との面談により決定する。</p> <p>【小野美喜】 高齢者の健康生活を支える制度、理論、看護実践と課題を教授し、高齢者のQOLを高める看護を探究する。</p> <p>【石田佳代子】 患者のアセスメント、患者ニーズの把握方法とニーズに応じた生活援助のあり方について教授する。</p> <p>【草野淳子】 小児の成長・発達の評価や療養上の健康問題を抽出し、セルフケア・発達を促進するための支援について探究する。</p> <p>【古賀雄二】 ライフコースアプローチの視点と多様な健康レベルを踏まえて成人期の健康課題を捉え、EBNに基づいた高度な看護実践と問題解決の方策を探究する。</p> <p>【杉本圭以子】 精神医療保健福祉における理論と実践を理解し、当事者が地域で生活を継続するために必要な支援を探究する。</p> <p>【濱耕子】 リプロダクティブヘルスにおける看護職の役割を活性化し、質の向上を図るための方策および実践に還元できる手段について探究する。</p> <p>【福田広美】 保健・医療・福祉に関する制度と看護管理の理論とその展開について教授する。看護管理プロセスに対する理解を深めるとともに、質の高い看護サービス提供のために看護組織が備えるべき機能について探究する。</p>
その他の授業の工夫	演習はオムニバス形式で行う。最終回は、受講生の研究テーマに即したプレゼンテーションとグループディスカッションを行う。

時間外学修	事前学修：各講師提示の文献等の資料を用いて予習、もしくはレポート作成、自己の研究課題に関するプレゼンテーション準備 事後学修：各講師の課題レポート作成・提出。（合計45h）
評価方法と評価割合	受講態度：20% プレゼンテーションと内容：50% 各領域のレポート：30%
テキスト	
参考書	
履修する上で必要な要件	受講者の専攻領域に係る特論科目を1科目以上履修していること。
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	小野美喜：病院の看護師 石田佳代子：病院の看護師 草野 淳子：病院の看護師 古賀雄二：病院の看護師 杉本圭以子：病院の看護師 濱 耕子：病院の助産師 福田 広美：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	エビデンスに基づいた専門領域の看護について、理論、政策、実践等の多角的な観点から学生に指導する。
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	研究分野に関連する幅広い専門的知識と高い倫理性の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得、プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	DNP特論Ⅰ
時間割コード／Course Code	Z30001
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	福田 広美
必修・選択 ／	必修
開講時期 ／Semester term	前期前半、前期後半
学年 ／Grade	1年
担当教員 ／	福田広美 持田恵理 荒木章裕 伊藤智美
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	看護管理学におけるエビデンスを活用した組織変革について、リーダーシップやコラボレーション、倫理等に関するアプローチと共にエビデンスの実装を学ぶ。DNPの役割を理解し、組織変革を推進する上で求められる能力を養う。
到達目標	1. DNPの役割について説明ができる。 2. エビデンスを活用した組織変革について説明できる。 3. リーダーシップやコラボレーション、倫理等に関するアプローチについて説明できる。 4. エビデンスの実装について説明できる。
授業計画	1.エビデンスを活用した組織変革：公衆衛生分野 2.エビデンスを活用した組織変革：医療分野 3. EBPと組織変革 4.リーダーシップの理論・モデル 5.リーダーシップの育成 6.コラボレーションモデル 7.コラボレーションプロセス 8.倫理に関するアプローチ 9.エビデンスと実装モデル 10.実装戦略と組織分析 11.実装戦略と組織 12.実装戦略と計画フェーズ1-2 13.実装戦略と計画フェーズ3-4 14.実装戦略と評価 15.まとめ
その他の授業の工夫	受講者の経験や関心に基づいてエビデンスに基づく組織変革を学習する。課題に関するレポートやプレゼンテーション資料の作成、発表や討論を通じた参加型の授業を行う。
時間外学修	事前学習：課題に関するプレゼンテーション資料やレポートの作成を行う。事後学習：講義内容を踏まえてレポートの作成を行う。（合計45時間）
評価方法と評価割合	プレゼンテーション40% レポート40% 参加態度20%

テキスト	<p>1.高度実践看護: 統合的アプローチ 第3版 へるす出版; Third edition (August 27, 2025)中村 美鈴 (Consultant Editor, Translator), 法橋 尚宏 (Consultant Editor, Translator)</p> <p>2.看護実践の質を改善するためのEBPガイドブック:アウトカムを向上させ現場を変えていくために アイオワ大学病院看護研究・EBP・質改善部門 (Editor), 松岡千代 (Translator), 深堀浩樹 (Translator) ミネルヴァ書房 (2018)</p> <p>3.The Doctor of Nursing Practice Project: A Framework for Success Fourth Edition,Katherine J. Moran, DNP, RN, CDCES, FADCES, FNAP; Rosanne Burson, DNP, ACNS-BC, CNE, CDCES, FADCES, FNAP; Dianne Conrad, DNP, RN, FNP-BC, BC-ADM, FNAP ISBN:9781284255447 © 2024 480 pages</p>
参考書	<p>看護管理学習テキスト 第4版 第1巻 保健医療福祉制度・政策論 (日本看護協会出版会)</p> <p>看護管理学習テキスト 第4版 第2巻 看護サービスの質管理 (日本看護協会出版会)</p> <p>看護管理学習テキスト 第4版 第3巻 人材管理論 (日本看護協会出版会)</p> <p>看護管理学習テキスト 第4版 第4巻 組織管理論 (日本看護協会出版会)</p> <p>看護管理学習テキスト 第4版 第5巻 経営資源管理論 (日本看護協会出版会)</p> <p>看護管理学習テキスト 第4版 別巻 看護管理基本資料集 (日本看護協会出版会)</p>
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	<p>福田広美・荒木章裕：病院の看護師</p> <p>持田恵理：行政保健師</p>
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	有
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	伊藤智美：病院の看護師
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得、リーダーシップとチームワーク促進の能力の習得、プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	DNP特論Ⅱ
時間割コード／Course Code	Z30002
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	持田 恵理
必修・選択 ／	選択
開講時期 ／Semester term	後期前半
学年 ／Grade	1年
担当教員 ／	持田恵理、川南公代、小山秀夫、市川明弘、福田広美、藤内修二、玉井保子、桑野紀子
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	医療保険制度・公衆衛生の歴史的背景と構造上の課題を理解するとともに、実践現場の課題を分析し、解決・改善のための看護政策を考察する。
到達目標	1.医療保険制度・公衆衛生の歴史的背景と構造上の課題を説明できる。 2.臨床現場の課題の分析方法を説明できる。 3.看護政策と看護実践の関係を説明できる。 4.自らが看護政策に参画する具体的手方法を考察し説明できる。
授業計画	1.医療保健政策と看護職の役割 2.医療保険制度の歴史的背景と構造上の課題 3.医療財政と経済 4.診療報酬制度、介護保険制度の歴史的背景と構造上の課題 5.病院の経営・財務管理 6.病院の人事管理 7.医療・看護の質評価 8.自身のリサーチクエストと政策的なアプローチ① 9.保健医療政策の計画と評価 10.公衆衛生とSDH 11.看護政策への関与 12.保健医療政策の国際比較 13.看護政策と政策 14.自身のリサーチクエストと政策的なアプローチ② 15.プレゼンテーション
その他の授業の工夫	講義とプレゼンテーションを組み合わせ、学生の看護政策の関心を踏まえた参加型の授業を行う。
時間外学修	授業前に指定された資料や関連分野の文献・書籍を読み、解決・改善のための看護政策の理解を深めること。
評価方法と評価割合	プレゼンテーション 100%
テキスト	ハンドアウトとして適宜配布する。
参考書	・島崎謙治(2020)日本の医療制度と政策、東京大学出版会 ・池上直巳(2017)日本の医療と介護―歴史と構造そして改革の方向性、日本経済新聞社 ・池上直巳(2018)医療管理病院のあり方を原点からひもとく、医学書院 ・宮川公男(2002)政策科学入門第2版、東洋経済新報社 ・野村陽子(2015)看護政策と政策、法政大学出版会 ・見藤隆子(2006)看護職者のための政策過程入門、日本看護協会出版会 ・裴英洙(2025)医療経学概論、日経BP

履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／ Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／ Practical teacher details	持田恵理（行政の保健師）、川南公代（行政の保健師） 市川明弘（県の保健行政事務職）、藤内修二（公衆衛生医師）、玉井保子（県看護協会会長）
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／ Practical experience of non-teachers involved in teaching	有
実務経験を生かした教育内容 ／ Educational content utilizing practical experience	実務経験を活かし、臨床現場の課題解決に向けた理論と技術を学生に提供する。
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／ DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／ DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得、リーダーシップとチームワーク促進の能力の習得、プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	DNP特論III
時間割コード／Course Code	Z30003
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	持田 恵理
必修・選択 ／	必修
開講時期 ／Semester term	後期後半
学年 ／Grade	1年
担当教員 ／	持田恵理、三谷千代子、井出由美
講義形態 ／Class Type	講義
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	看護実践現場での課題とそれに対する実装科学研究を論理的に説明できる。
到達目標	1.実装科学研究の概要と特徴を述べることができる。 2.実装科学研究とDNPの役割を述べることができる。 3.実装科学研究の方法論を述べることができる。 4.自身の看護現場の課題を明らかにし、課題解決のための実装戦略を考えることができる。
授業計画	1.特定の現場へのEBIの適応 2.現場の課題とQI 3.プロジェクト研究の概要・目的・目標・プロセス・評価 4.プロジェクト研究のための統合フレームワーク 5.プロジェクト研究とDNPの役割 6.プロジェクト研究の方法論：フィールドアセスメント、組織分析 7.プロジェクト研究の方法論：デザイン 8.プロジェクト研究の方法論：対象 9.プロジェクト研究の方法論：アウトカム 10.プロジェクト研究の方法論：実装のためのプロジェクトの組織化 11.プロジェクト研究の実際① 12.自身の看護現場における課題と解決のための実装戦略① 13.プロジェクト研究の実際② 14.自身の看護現場における課題と解決のための実装戦略② 15.自身の看護現場における課題と解決のための実装戦略③
その他の授業の工夫	講義、プレゼンテーションを組み合わせ、看護実践現場における実装戦略を考える参加型の授業を行う。
時間外学修	授業前には、示された資料や関連分野の文献・書籍を読み、自身のプレゼンテーションの前には、関連するエビデンスを抽出し発表資料の準備を行う。
評価方法と評価割合	プレゼンテーション 100%
テキスト	・DNPプロジェクト研究ガイドブック ・The Doctor of Nursing Practice Project: A Framework for Success Fourth Edition Katherine J. Moran, DNP, RN, CDCES, FADCES, FNAP; Rosanne Burson, DNP, ACNS-BC, CNE, CDCES, FADCES, FNAP; Dianne Conrad, DNP, RN, FNP-BC, BC-ADM, FNAP ISBN:9781284255447 © 2024 480 pages
参考書	
履修する上で必要な要件	
その他	

実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	持田恵理（行政の保健師）
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	有
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	三谷千代子、井出由美（実践現場にいる看護師、DNP取得者）
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得、リーダーシップとチームワーク促進の能力の習得 、プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	DNP特別演習
時間割コード／Course Code	Z30004
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	2.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	持田 恵理
必修・選択 ／	必修
開講時期 ／Semester term	後期後半
学年 ／Grade	1年、2年
担当教員 ／	持田恵理、福田広美、桑野紀子、指導教員
講義形態 ／Class Type	演習
授業回数	15
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	学生のプロジェクト研究を行う看護実践現場でのプロジェクト研究実施のための研究計画書を作成する。
到達目標	1.プロジェクト研究を行う実践現場での課題を明らかにする。 2.フィールドアセスメント：組織分析を行う。 3.課題解決のための実装戦略を明確化して、臨床アウトカムと実装アウトカムを設定する。 4.実装のためのプロジェクトを組織化する。 5.プロジェクト研究の計画書を作成する。
授業計画	1～4.現場の課題の特定、文献検討 5～8.フィールドアセスメント・組織分析 9～10.実装戦略の決定 11～13.計画書作成・プロジェクトの組織化 14.計画書作成 15.発表
その他の授業の工夫	本演習は、学生と指導教員との対話を通じて、個別の現場課題を学術的かつ組織論的に解明するプロセスを重視する。特に、フィールドアセスメントからチーム調整に至るまで、実践看護師としての合意形成プロセスを体験的に学習できるよう設計している。
時間外学修	毎回の授業までに、現場の課題分析資料や関連文献を整理し、検討すべき論点を明確にしておくこと。授業後は、議論の内容に基づき、現場での実践記録とプロジェクト計画書を修正・更新し、実装の精度を高めること。
評価方法と評価割合	DNPプロジェクト研究計画書 100%
テキスト	DNPプロジェクト研究ガイドブック
参考書	別途指示する。
履修する上で必要な要件	
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	持田恵理（行政の保健師）
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	

DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得、リーダーシップとチームワーク促進の能力の習得、プロジェクト研究を実施する能力の習得

開講科目名／Course	特別研究（研究者コース）／Doctor's Thesis
時間割コード／Course Code	Z40001
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	8.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	稲垣 敦
必修・選択 ／	必修
開講時期 ／Semester term	前期前半、前期後半、後期前半、後期後半
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	各学生の主・副指導教員（教授、准教授）
講義形態 ／Class Type	演習
授業回数	90
オンライン授業の実施について ／online	一部オンライン
科目の目的と概要	・指導教員の助言を得ながら、各自が設定した研究テーマとその周辺課題について有意義なリサーチクエスチョンを立て、これに答えるためのサブテーマとして研究レビュー、研究方法論の吟味と基礎検討、データ収集、データ分析等の研究計画を立て、研究成果を学術誌に著実に投稿・発表し、博士論文を完成させる。
到達目標	・公正な科学研究を行い、論文を学術雑誌に投稿し、掲載される。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の決定（学生便覧の「修士・博士の指導教員に関するガイドライン」を参照） ・研究テーマの選定 ・研究計画の立案 ・論文レビュー報告会でポスター発表（1年次8月） ・倫理委員会に研究計画書を作成・申請・修正・再提出・合格（学生便覧の「研究の倫理・安全に関する指針」、「動物実験規程」、「研究計画の申請に関する手引き」https://www.oita-nhs.ac.jp/site/daigakuanai/33.htmlを参照） ・研究計画報告会でポスター発表（1年次3月） ・実験や調査開始 ・分析 ・研究中間報告会でポスター発表（2年次8月） ・学術論文の作成・投稿 ・博士論文執筆（学生便覧の「博士論文提出要領」を参照） ・博士論文提出（学生便覧の「博士論文提出要領」、「博士論文審査要領」を参照） ・博士論文審査会の日程調整 ・博士論文審査会で発表・質疑応答（学生便覧の「博士論文提出要領」、「博士論文審査要領」を参照） ・審査結果の返却・公表 ・博士論文の修正 ・修正論文の提出 ・博士論文審査会でチェック ・研究科委員会で可否の判定 ・研究成果報告会で発表 ・論文と要旨の紙版とPDF版を提出（学生便覧の「博士論文審査要領」） （以上、学生便覧の「博士研究指導ガイドライン」を参照）
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学生および教員の都合の良い時間帯に論文指導を行う。 ・必要に応じて、学内外の教員から専門的立場からコメントをもらうことができる。 ・研究指導では、Zoom等を活用する。 ・詳細についてはガイドライン等を参照。

時間外学修	・時間割上は授業時間を定めないので、各自で十分な時間を充てること。
評価方法と評価割合	<ul style="list-style-type: none"> ・博士論文審査要領にある通り、研究成果の全部または一部を一定要件を満たす学術誌に投稿し、査読を経て受理されること。 ・論文審査会で口頭発表し、口頭試問を受ける。 ・学生便覧「博士論文審査のためのクライテリア」を参照。
テキスト	
参考書	
履修する上で必要な要件	<ul style="list-style-type: none"> ・在学年限内であること。 ・休学中ではないこと。 ・主・副指導教員が決まっていること。
その他	・博士論文の最終版を大学リポジトリで公表する。
実務家教員の有無 ／Practical teacher	無
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	
教員以外で指導に関わる者の実務経験の有無 ／Practical experience of non-teachers involved in teaching	無
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	
DPとの対応（看護学専攻研究者コース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	科学的論文を作成し、学術雑誌に投稿・掲載でき、学術集会等で論理的に研究成果を説明できる能力の習得、研究分野に関連する幅広い専門的知識と高い倫理性の習得
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	

開講科目名／Course	DNP特別研究
時間割コード／Course Code	Z40002
開講所属／Course Offered by	大学院博士後期課程看護学研究科看護学専攻／
単位数／Credits	6.0
学年／Year	1,2,3
主担当教員／Main Instructor	稲垣 敦
必修・選択 ／	必修
開講時期 ／Semester term	別途指示
学年 ／Grade	1年、2年、3年
担当教員 ／	各学生の主・副指導教員（教授、准教授）
講義形態 ／Class Type	演習
授業回数	45
オンライン授業の実施について ／online	オンライン
科目の目的と概要	本科目は、DNPにおける最終統括科目であり、実践現場に存在する複雑かつ多面的な課題に対して、エビデンスに基づく介入を設計・実装・評価し、その成果を体系的に統合することを目的とする。
到達目標	1.プロジェクト研究を行う看護実践現場での課題の重要性・必要性を論理的に説明し、目的を明確に示すことができる。 2.DNPプロジェクト研究に必要なエビデンスを体系的に検索、批判的吟味、統合ができる。 3.エビデンスに基づき、実装可能な介入計画を設計できる。 4.適切な評価指標を設定し、データを収集・分析し、その妥当性を説明できる。 5.結果を理論的・実践的視点から統合し、臨床的意義を考察できる。 6.研究倫理及び実践倫理を遵守したうえで、プロジェクト研究を遂行し、学術的規範に沿って成果を論述できる。 7.組織変革の視点から実践的価値を提案できる。 8.学位成果物として適切な構成と表現で成果をまとめることができる。
授業計画	1.主指導教員による個別研究指導 2.副指導教員との合同指導 3.文献レビュー発表会での報告 4.研究計画書作成・発表 5.実装 6.評価 7.論文執筆
その他の授業の工夫	・現場の複雑な課題を学術的枠組み（エビデンス）で構造化し、実行可能な改善計画へと昇華させる実践と研究の往還を重視する。単一の指導ではなく、フィールドアセスメントからチーム調整に至るプロセスを段階的に細分化し、学生が実践家として現場変革を牽引できるよう伴走型で指導を行う。 ・研究指導では、Zoom等を活用する。
時間外学修	毎回の指導において、現場の課題分析資料や関連文献を統合した「研究の論点」を提示すること。指導後は、議論を通じて得られた学術的フィードバックを反映させ、現場での実践データと研究計画（論文構成）を絶えず精緻化・更新し続けること。また、先行研究との対話を深め、自身の研究が当該領域にどのような新たな知見をもたらすかを論理的に言語化する作業を継続的に行うことが求められる。
評価方法と評価割合	3名の審査委員からなる審査を受ける。
テキスト	必要に応じて提示する。
参考書	

履修する上で必要な要件	指導教員が決まっていること。 休学中ではないこと。 在学年限内であること。
その他	
実務家教員の有無 ／Practical teacher	有
実務家教員詳細 ／Practical teacher details	行政保健師、病院看護師
教員以外で指導に関わる者の実務 経験の有無 ／Practical experience of non- teachers involved in teaching	有
実務経験を生かした教育内容 ／Educational content utilizing practical experience	行政保健師、病院看護師
DPとの対応（看護学専攻研究者コ ース、健康科学専攻） ／DP/Recarchers Course	
DPとの対応（DNPコース） ／DP/DNP Course	高度実践者としての知識・技術・倫理性の習得、リーダーシップとチームワーク促進の能力の習得 、プロジェクト研究を実施する能力の習得